

(別紙4(2))

事業所名 認知症高齢者グループホームちくさ

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の基本理念を掲げており、職員間でも唱和が行なわれているが、ホームの理念は現状揭示されていない。その理念に基づいた仕事が行なわれているので、揭示をするのがよいのではないか。	ホームの理念を揭示する事が出来る。	ホームに理念を揭示する。 揭示した理念を職員に周知する。	6ヶ月
2	6	地域の方との交流は併設事業所とも連携して行なわれている。今後も家族とのより良い関係の継続を維持するとともに、より多くのご家族との交流が深まるとよいのではないか。	家族を含めた交流会を行う事が出来る。	家族を含めた交流会を行う。	12ヶ月
3	35	ホームにおける備蓄品の確保	消費期限満了のための物品の入れ替えや不足分の必要な備蓄品を確保する事が出来る。	不足分に関してはすでに準備完了している。入れ替え分に関しても計画できている。段階的に入れ替えを行なう。	6ヶ月
4	40	食事のバリエーションをより豊かなものにし、利用者に楽しんでもらえる食事の提供を行なう。	利用者と一緒に食事を作る事が出来る。 ソフト食のバリエーションを増やす。	レクリエーションのみでなく日常的に利用者と一緒におやつ等と一緒に作る。 常食をブレンダーしてのソフト食メニューを増やす。	6ヶ月
5	49	外出の機会をより増やす。	外出する事が出来る。	気候をみて日常の散歩をより行い、利用者と一緒に外出をする機会を計画的に設ける。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。